

手術説明書

乳頭縮小術/乳輪縮小術/モントゴメリー腺除去術/分裂乳頭修正術

この説明書は乳頭縮小術/乳輪縮小術/モントゴメリー腺除去術/分裂乳頭修正術についてその目的・内容・危険性などを説明するものです。ご不明点は何でもおたずね下さい。

☑目的と内容

乳頭縮小術/乳輪縮小術：乳頭/乳輪の余剰部分を切除し、縫合いたします。

デザイン決定後に局所麻酔を注入し、無痛状態が得られてから処置に入ります。電気メスにて丁寧に止血を行い、縫合を行います。抜糸は不要ですが、希望者は10-14日後に行います。処置の所要時間は切除量、手術範囲、出血量などで差が生じますが1時間前後が目安です。乳頭縮小では乳管温存法を用います。

乳輪縮小では外側法か内側法かを御本人に決定していただきます。

モントゴメリー腺除去術：モントゴメリー腺を切除し、滑らかな乳輪を実現します。

切除希望のモントゴメリー腺をご指定いただき、局所麻酔で無痛状態が得られてから処置に入ります。

切開・縫合を行いますが、抜糸は不要です。処置の所要時間は1箇所10分前後が目安です。

分裂乳頭修正術：分裂している乳頭の余剰部分や変形部分を切除し、縫合することで、より自然な形態へ整えます。乳管温存法を用いますが、分裂している箇所の組織を切除し形状を再構築する際、その割れている部位に含まれる一部の乳管については、形を整えるためにやむを得ず犠牲になる可能性があります。

☑危険性

再出血・血腫・感染・創部離開・アレルギー・皮膚壊死など

いずれも発生頻度は極めて低いですが、年齢や併存疾患の有無、生活状況などにより個人差があります。

☑手術を行った後の経過と経過中に起こり得る問題

1) 痛み・腫れ・ひきつれ

ほぼ100%生じる症状です。術後1ヶ月で概ね、3ヶ月で自覚症状はなくなる方がほとんどですが、厳密には6ヶ月から1年ほどかけて創傷治癒の過程となります事をご承知下さい。

2) かゆみ

傷が治る際に生じます。ワセリンで保湿してください。また、下着はお肌に合ったものをご使用下さい。

3) 硬結

部分的に、しこりの様に触れる事がございますが経過と共に柔らかく落ち着いていきます。

4) 左右差

元々左右差は多かれ少なかれございます。元の左右差を目立たなくする様に施術を致しますが、生まれつきの差を完全に消失させる事は不可能ですのでご注意ください。乳頭・乳輪いずれかのみの施術をご選択される場合、ご選択されなかった部分の影響を強く受けることがあります。

また、モントゴメリー腺除去術では隆起した組織を切除するため、術前と比較して乳頭・乳輪の見え方や位置関係（乳頭が左右どちらかに寄ったような見え方を含む）が変化したように感じられる場合があります。これは術式に伴う見え方の変化であり、異常ではありません。

5) 乾燥

ワセリンによる保湿を推奨しております。時間経過で気にならなくなる方がほとんどです。

6) 傷跡・色素沈着

乳輪・乳頭は切開縫合した跡が目立ちやすく、白く抜けて見える事が多いです。また過去に喫煙歴のある方も含め、喫煙や副流煙を吸われる方は通常の方より傷の治りが遅く、強く跡が残ります。

傷跡対策にはワセリンによる保湿が大変有効ですが、1年経過後も傷跡が気になる場合はアートメイクでカバーしていただくのが一般的な流れとなります。ご希望の方には、傷跡に見識のある医師によるアートメイクのクリニックをご紹介します。

なお、乳輪縮小(内側法)では乳輪内側の皮膚を切除しますが、外周と内周の長さが異なるため、単純な環状では縫合できません。そのため、放射状にデザインを調整しながら縫い合わせることで、皮膚の余りを均等に分散させます。その結果、縫合部(傷跡)が中心に向かって放射状に見えますが、これは術式上必要な処置であり異常ではございません。

7) 扁平乳頭

乳輪縮小術後は、術前より乳頭が平たくなります。これは瘢痕拘縮や縫合方向の影響によるもので、医学的に一定程度生じ得る変化です。どの程度平坦化するかは個人差があり、術前に正確な予測はできません。

☑注意事項

下記にあてはまる方は事前にお申し出頂いております。休薬が必要なものに関しましては、手術日までにかかりつけ医に調整をお願いして下さい。当日の体調によっては手術を中止といたします。

- 1) 妊娠・授乳中の方、妊娠の可能性がある
- 2) これまで歯科の麻酔や局所麻酔でアレルギー症状があった
- 3) ヨード液の消毒でアレルギー症状があった
- 4) 現在治療中、服薬中の疾患がある
- 5) 抗凝固剤、抗血小板薬（ワーファリン、アスピリン、イグザレクト、バイアスピリン、プラビックス、エパデール等）を服用している
- 6) 心臓病、糖尿病、便秘症、緑内障、脳梗塞、人工透析、高血圧症で治療、服用している

☑手術後の生活について

手術後の経過を良好に保つために、以下の注意事項を必ずお守りください。これらを遵守いただけない場合は回復に影響が生じます。その際には当院での対応範囲を超える場合がございます。

なお、特別なご事情や個別の対応が必要な場合は事前にご相談ください。ただし、過度なご要望がある場合は術後の経過を優先し対応を見合わせる場合がございます。

シャワー	…当日より可能。必ず毎日洗浄を行なってください。
ホームケア	…術後 1 年間はワセリンで保湿を行なってください。
入浴、運動、飲酒・喫煙、	…術後 1 ヶ月間は控えていただくことを強く推奨。
サプリメント、サウナ、 胸のマッサージ等	…術後 1 ヶ月間は禁止。

☑偶発症発生時の対応

アナフィラキシーショック等、偶発症が発生した際には最善の処置を行います。医師が救急搬送を要すると判断した場合には直ちに救急要請を行います。なお、他院で生じた医療費は患者様のご負担となります。

☑同意撤回

一度同意書を提出しても、手術が開始されるまでは手術をとりやめる事ができます。とりやめる場合にはご連絡をお願いいたします。ご予約のキャンセルに関するルールはキャンセルポリシーに準じます。

キャンセル可能期間中のキャンセル：無料受付

キャンセル可能期間を過ぎてのキャンセル：施術+診察料の 100%の料金をご請求させていただきます。

※天災やその他、証明書が発行されるご事情によるキャンセルである場合、料金は頂きません。